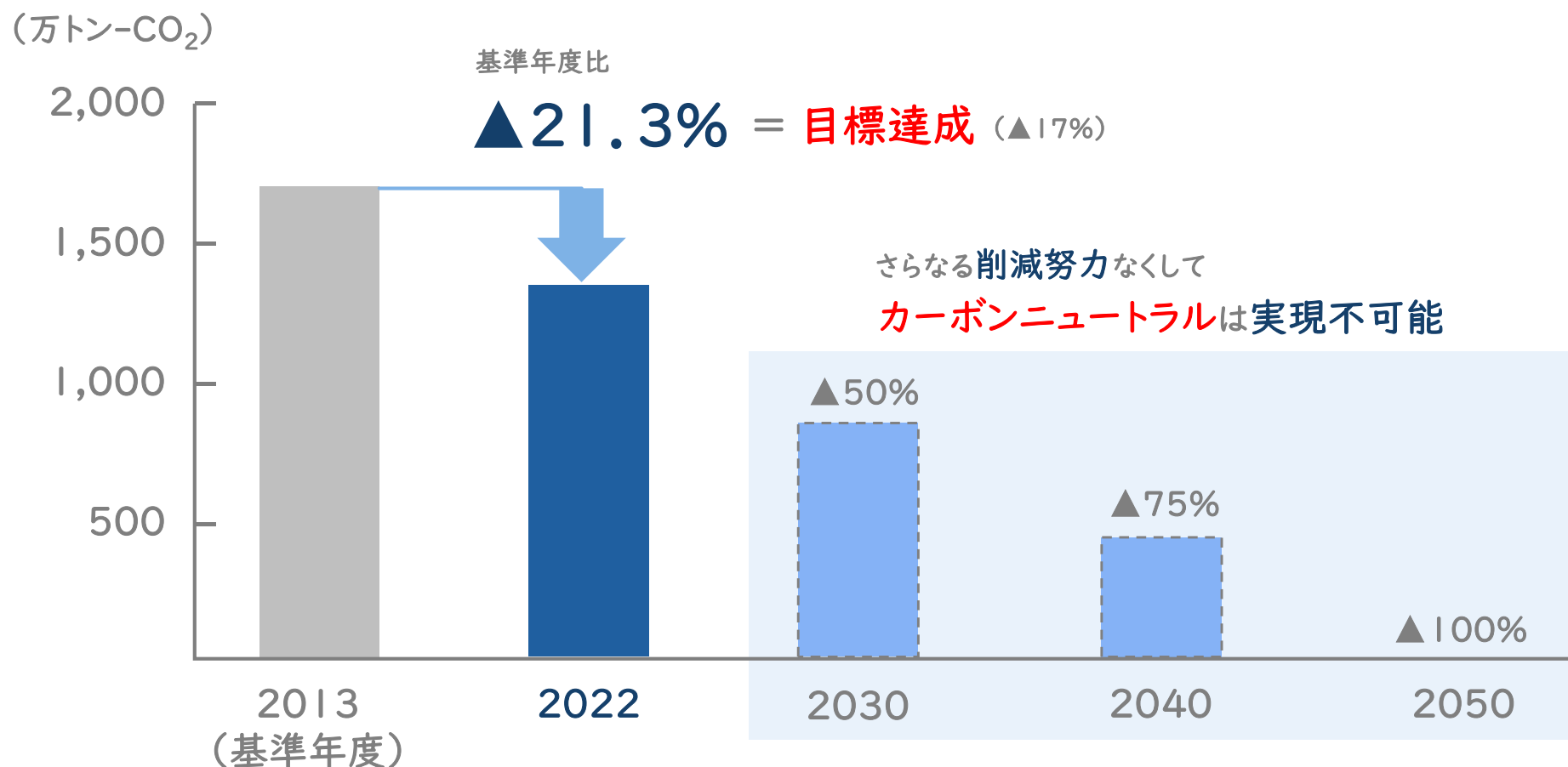


現状認識 ▶ 2022年度の温室効果ガス実排出量の現状

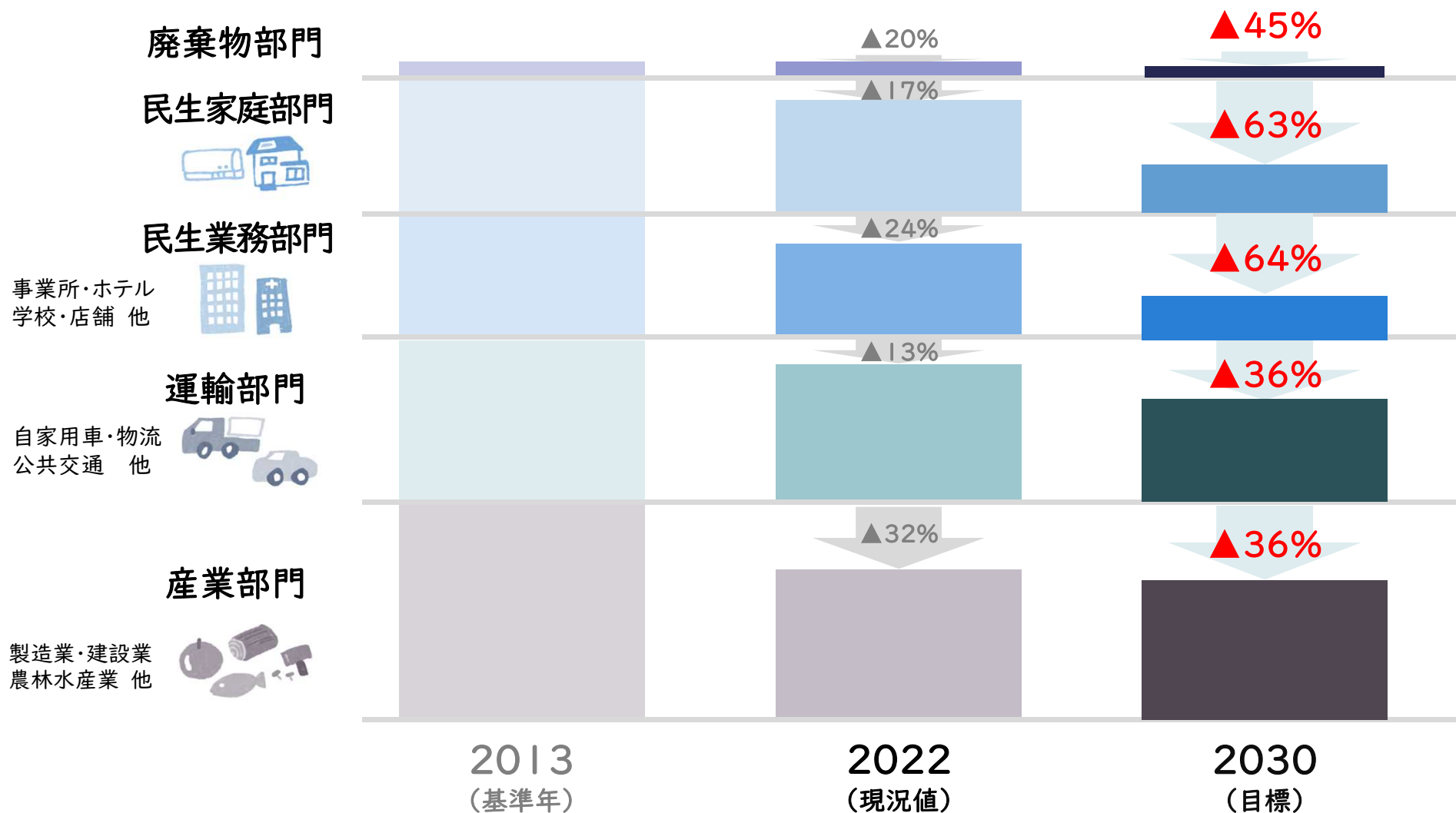
実排出量 **1,340**万トン-CO₂ 県民一人当たり **約7.5** トン-CO₂



(※) 総排出量から森林等吸収量を差し引いた実排出量

出典: 福島県における2022年度(令和4年度)の温室効果ガス排出状況について/福島県環境共生課(2024年度)

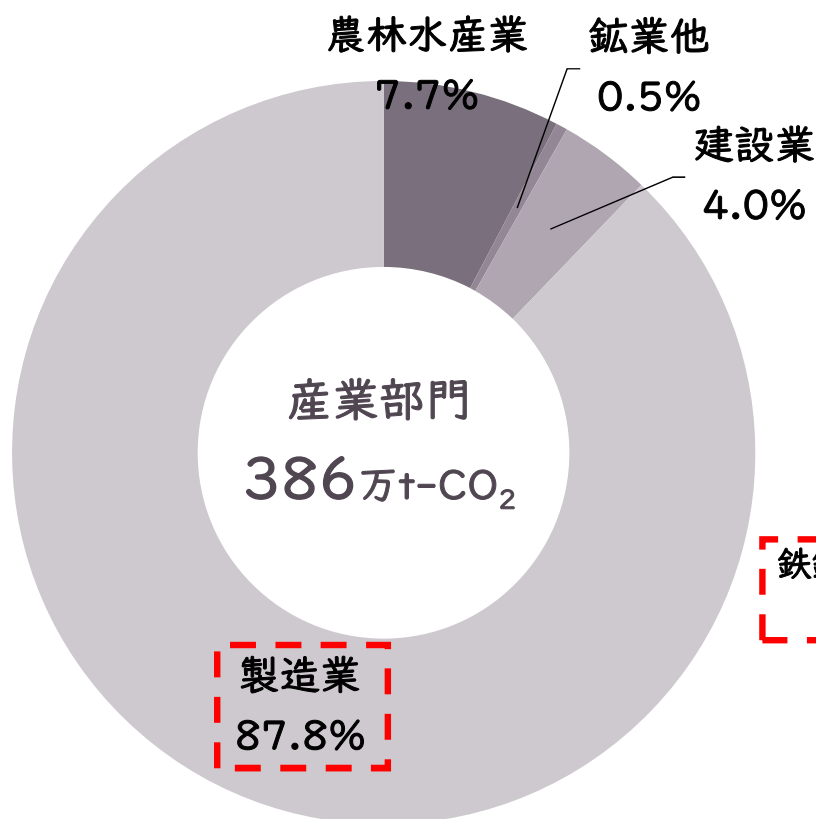
現状認識 ▶ 部門別の温室効果ガス排出量の削減目標との比較



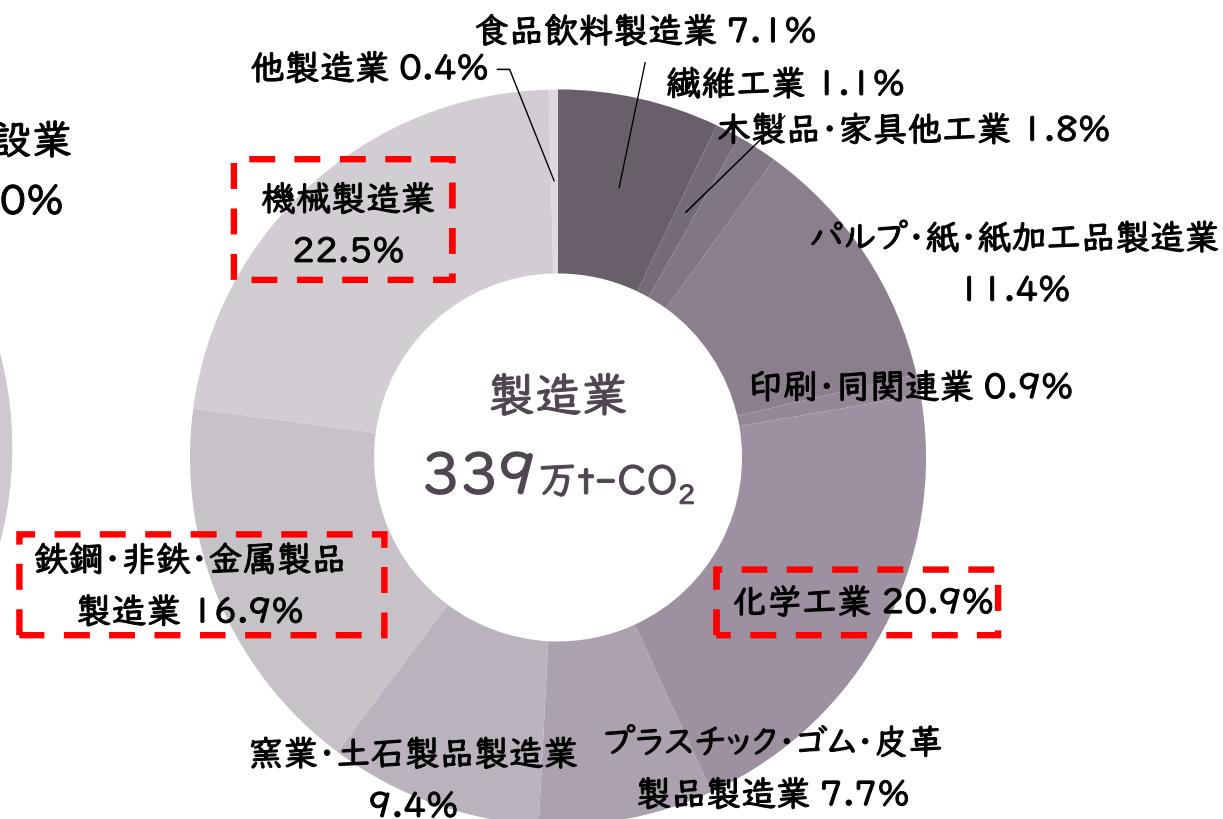
各部門において、**更なる削減の取組が必要**



- 産業部門の二酸化炭素排出量のうち、製造業からの排出が87.8%を占める
- 製造業の排出量の内訳は、機械製造業が22.5%と最も多く、次いで化学工業が20.9%、鉄鋼・非鉄金属製品製造業が16.9%となっている



産業部門の二酸化炭素排出内訳

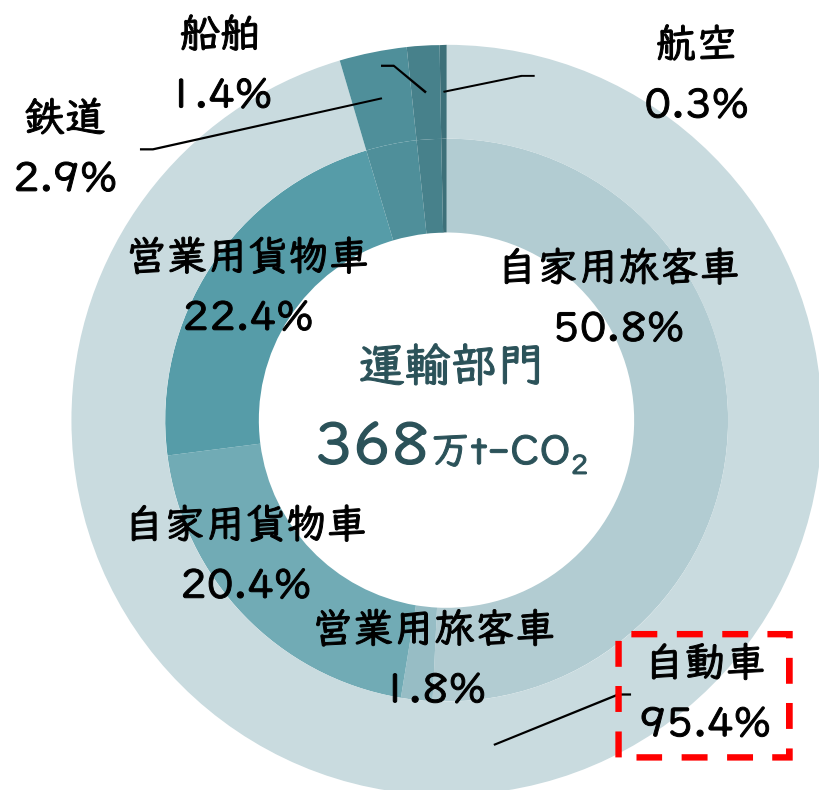


製造業の二酸化炭素排出業種別内訳

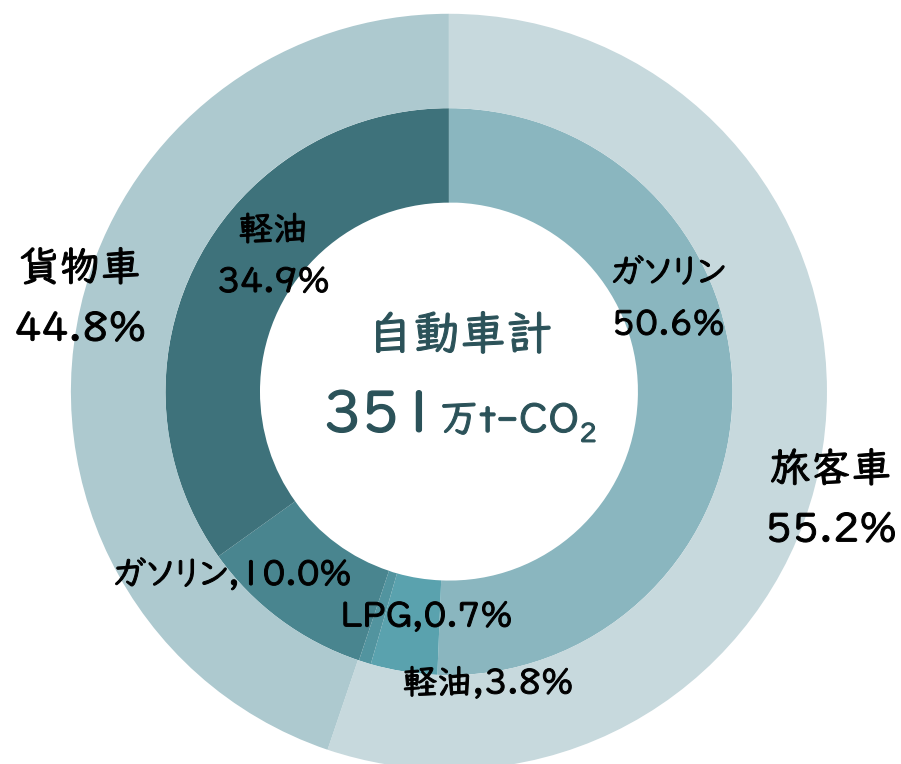
現状認識 ▶ 運輸部門の二酸化炭素排出量(2022年度)



- 運輸部門の二酸化炭素排出量のうち、自動車からの排出が95.6%を占める
- 自動車からの二酸化炭素排出量の割合は、旅客車が55.2%、貨物車が44.8%。使用燃料は、旅客車はガソリンが多く、貨物車は軽油が多い



運輸部門の二酸化炭素排出内訳

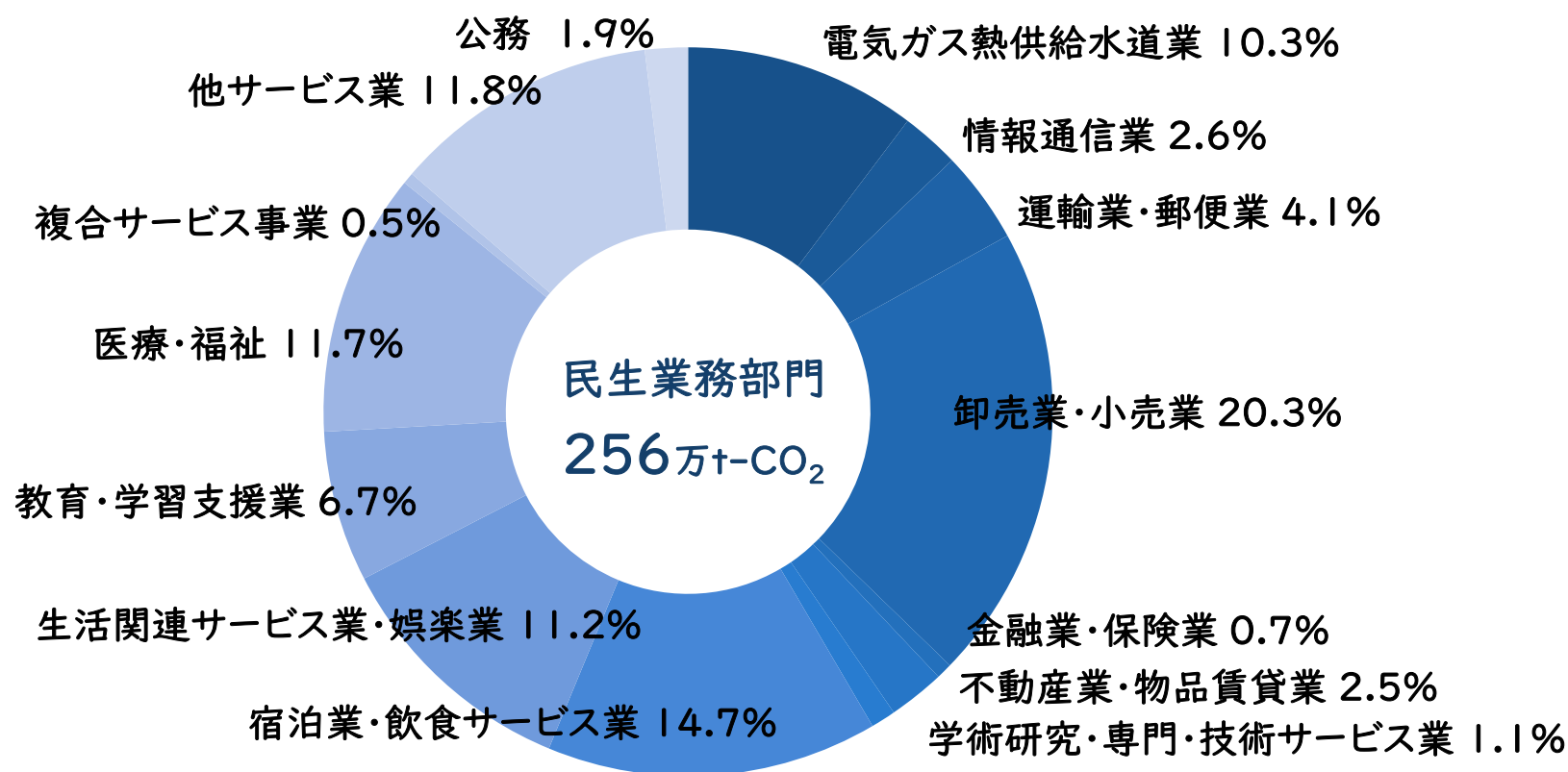


自動車の二酸化炭素排出車種別・燃料別内訳

現状認識 ▶ 民生業務部門の二酸化炭素排出量（2022年度）



- 民生業務部門の二酸化炭素排出量のうち、卸売業・小売業が20.3%、宿泊業・飲食サービス業が14.7%、生活関連サービス業・娯楽業及び医療・福祉が11.2%を占める



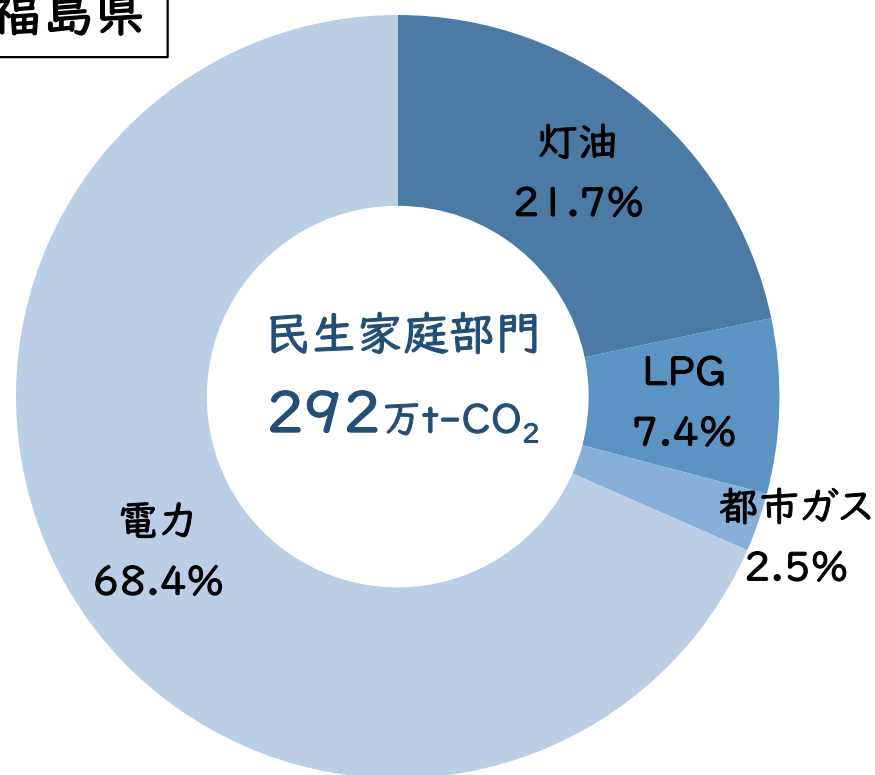
民生業務部門の二酸化炭素排出内訳

現状認識 ▶ 民生家庭部門の二酸化炭素排出量（2022年度）

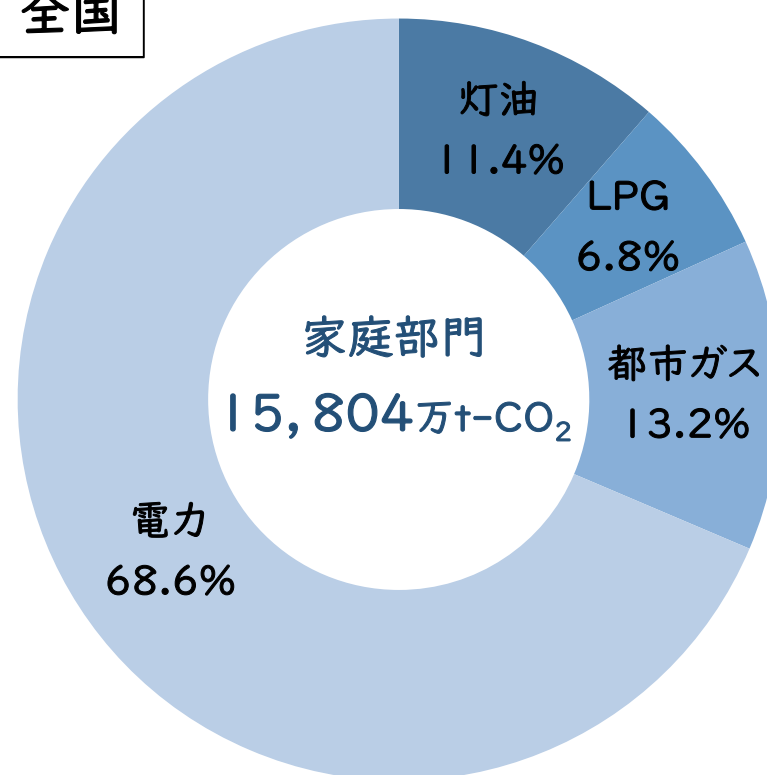


- 民生家庭部門のエネルギー別二酸化炭素排出量のうち、電力が68.4%を占める
- 県の地域特性として、灯油は暖房需要により消費量が大きく、都市ガスは普及率が低いため、全国に比べて灯油の割合が高い

福島県



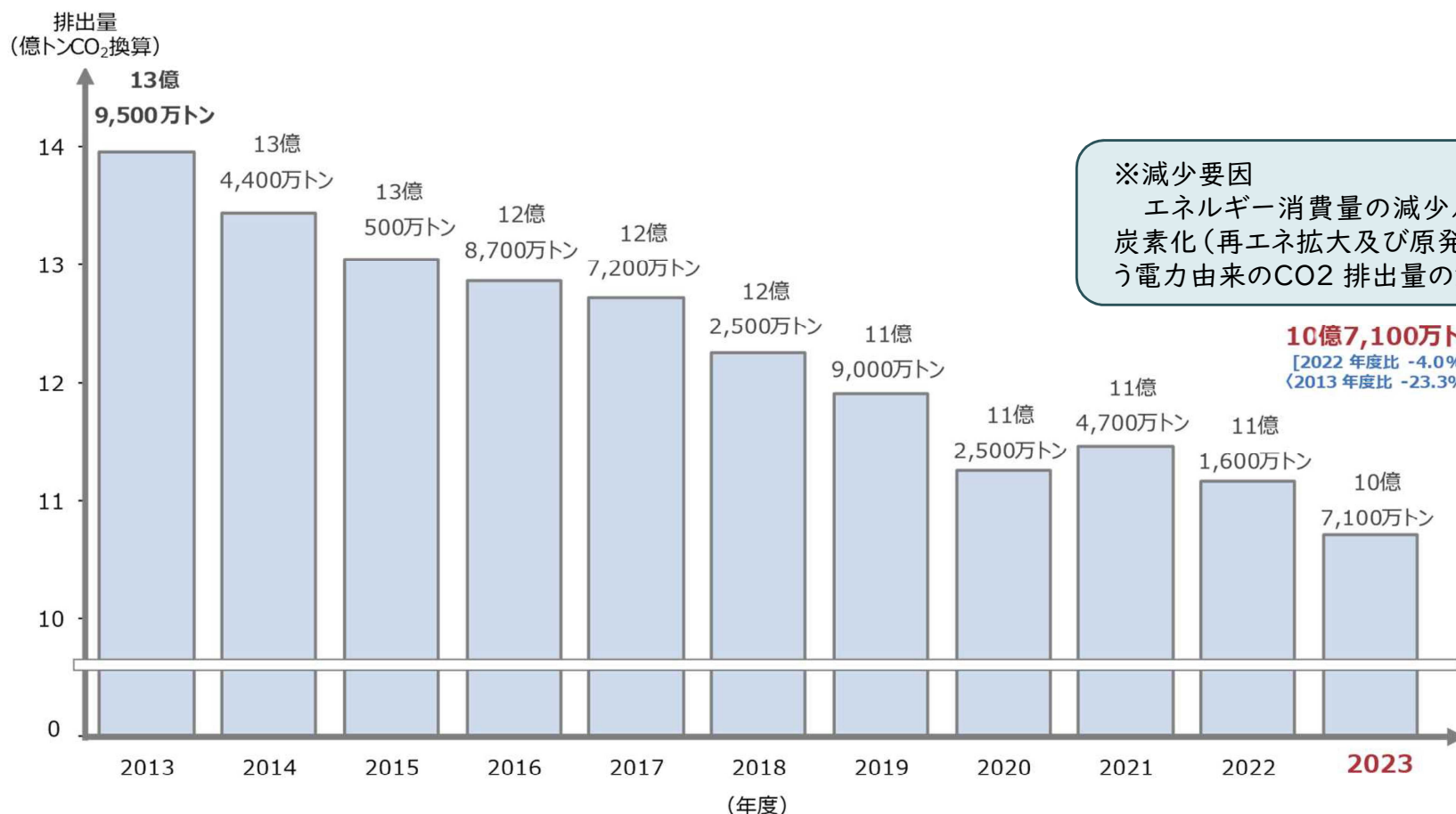
全国



民生家庭部門の二酸化炭素排出内訳

参考 ▶ 国の最新(2023年度)の温室効果ガス排出量

- 2023年度の我が国の温室効果ガス排出量は、10億7,100万トン
- 2022年度の排出量(11億1,600万トン)と比べて、4.0%(4,490万トン)減少
- 2013年度の排出量(13億9,500万トン)と比べて、23.3%(3億2,440万トン)減少



国の2023年度の温室効果ガス排出量